

令和2年度特色ある区づくり予算編成に向けた各委員意見まとめ、取り組みの方向性

分野	各委員意見	参考情報	取り組みの方向性
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域内にはコミュニティ協議会、自治会のほか、支え合いの仕組みづくりや地域防災など 様々な組織があるが、それぞれが連携できていないと感じる。地域の活性化には、それらを上手くまとめていく必要がある。</li> <li><b>自治協議会もコミュニティ協議会も、まだまだ認知度が低いと感じる。住民をコミュニティ活動などに関わってもらえる工夫が必要</b>ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江南区自治協議会通信で自治協やコミ協の紹介を行ってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>自治協やコミ協の認知度向上の取り組み</b>（広報紙、提案事業の継続など）</li> </ul>
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>超高齢化が進行し、ますます公共交通が大事となってくる。<b>交通弱者である高齢者の移動や買物支援など、どのように手助けしていけるか</b>を考える必要がある。</li> <li>バスを利用したくても、バス停まで遠くて不便との声を聞いている。</li> <li>利用者が限定される目的バスは、将来を見据えると統合していくべき。高齢者も子どもも、誰でも利用できる形を目指していく必要がある。</li> <li>路線バスや区バスなどの接続が上手くいっていないとの声を聞く。乗換えを意識したダイヤ設定が必要ではないか。</li> <li><b>デマンド交通も視野に入れた交通空白域の解消が必要。どのような手法が考えられるのか、見込みはあるのかをしっかりと検討した中で、何かできるとよい。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者向けの公共交通に関する取り組みは、これまで実施していない。</li> <li>R2 年度区提案予算として、民間活力を生かした新たな手法による試験運行を予定</li> <li>静岡県で今年度、高齢者移動支援の実証実験を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>高齢者向けの公共交通に関する取り組みの実施</b></li> <li><b>交通空白域の解消の手法については、本庁予算での試験運行の結果を検証し、引き続き勉強会を継続</b></li> </ul>
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟中央環状道路などの整備により新たな交通の流れができる。これを単なる通過点とするのではなく、買物やイベントなどで活力を引き込む工夫が必要ではないか。</li> <li>(仮称) 江南駅周辺に「道の駅」のようなものができると中央環状道路と連携して、区のPRにもつながるのではないか。</li> <li>(仮称) 江南駅の設置は、過疎化に歯止めをかける起爆剤となりえる。部会としても早急な駅設置、周辺まちづくりを強く行政に訴えていくべき。</li> <li><b>江南区には様々な地域資源(農産物・俳句・神楽など)があり、個々には非常に熱心に取</b>り組まれている。これを上手く組み合わせて活用できないか。</li> <li>「水と土」という視点で、さらに文化資源として掘り起しできるものはないか。文化会館の緑地も活用できるとよいのではないか。</li> <li>イベントなどがそれぞれ単発で終わっているイメージがある。ストーリー性を持たせて連携できるとよいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新駅については、今年度江南区のまちづくりに関するリーフレットを作成・発信する。</li> <li>新駅周辺のまちづくりには市街化区域の編入が必要</li> <li>来年7月に市場法が改正され、市場内での小売りが可能となるなど利活用の幅が広がる。</li> <li>地域資源を活かした取り組みとして、俳句文化にスポットをあて、著名な方を呼べないか検討中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>地域資源を活用した取り組みの実施</b>（ぐるっと・巡って発見・体験ツアーの継続）</li> <li><b>人口減少対策に向けた地域の課題解決の取り組みの支援</b></li> </ul>
産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>「農に親しむ」事業について、もっといろんなイベントで地域住民に区の特産品などを知</b>てもらいたい。</li> <li>商店街では、後継者不足で事業が継続できない状況が増えている。特に農業者向けに商売をしている商店では、地域の農業が衰退すると、商店の衰退も連動してしまうため、<b>農業を衰退させないことが大事</b>だと思う。</li> <li>高齢化が進むと<b>身近に商店街がないと不便なことも考えられるため、区や商工会で衰退</b>しないために協力していくことは必要ではないか。</li> <li>両川地区では、空き店舗も増えてきている。それを活用して、地域に人が来るようにできるとよい。</li> <li>中央環状道路の整備により両川のライスセンターがなくなってしまう。これにより、農家を止めざるを得ないところもあり、地域にとってはデメリットも出ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業の取り組みについて、若手後継者も増えてきている中で、区としても支援したい。農業の6次化やイベントなど、区の持つアイデアと組み合わせるといろいろできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>「農」に親しむの継続</b></li> <li><b>商店街を活用した取り組みの実施</b>（地域商業活性化支援の継続）</li> </ul>

